

1577

## 日本株高配当70ETF（愛称）

NOMURA

NEXT FUNDS

NEXT FUNDS 野村日本株高配当70連動型上場投信  
[追加型投信/国内/株式/ETF/インデックス型]月次レポート  
2019年8月30日

## ■ ファンドの目的

野村日本株高配当70（対象指数）に連動する投資成果を目指します。

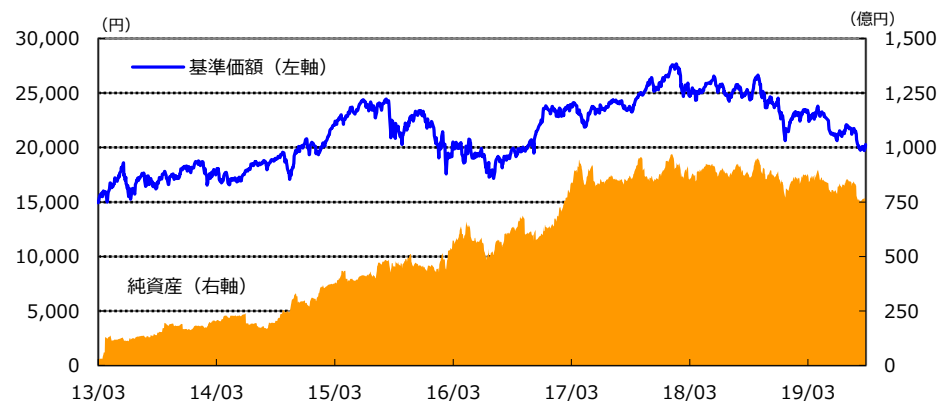
## ■ 野村日本株高配当70

国内金融商品取引所に上場する全ての普通株式のうち、今期予想配当利回りの高い、原則70銘柄で構成される等金額型の指数です。2000年12月29日を基準日とし、その日の指数値を10000として計算されています。

## ■ 運用実績

## 運用実績の推移

(日次)



騰落率	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
基準価額	-4.8%	-2.5%	-11.2%	-16.7%	12.2%	61.0%

(設定来 = 2013年3月5日以降)

・基準価額の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の基準価額を表示しております。

・上記の騰落率は、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに騰落率は異なります。

・騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

## ■ 資産内容

業種別配分	純資産比
化学	11.2%
銀行業	11.1%
輸送用機器	8.4%
電気機器	7.7%
卸売業	7.5%
その他の業種	53.8%
その他の資産	0.3%
合計	100.0%

資産構成	
株式	99.7%
その他の資産 (指数先物)	0.3%

組入上位10銘柄	業種	純資産比
8035 東京エレクトロン	電気機器	2.1%
9433 KDDI	情報・通信業	2.0%
9432 日本電信電話	情報・通信業	1.9%
9437 NTTドコモ	情報・通信業	1.8%
7203 トヨタ自動車	輸送用機器	1.8%
8001 伊藤忠商事	卸売業	1.8%
3231 野村不動産ホールディングス	不動産業	1.7%
8766 東京海上ホールディングス	保険業	1.7%
6113 アマダホールディングス	機械	1.7%
1925 大和ハウス工業	建設業	1.7%
合計		18.2%

・業種は東証33業種分類による。

当資料のご利用にあたっては、後記の「ご注意事項等」を必ずご覧ください。

## ファンド情報

設定日:	2013年3月5日
上場日:	2013年3月7日
上場市場:	東京証券取引所
信託期間:	無期限
売買単位:	1口
決算日:	毎年1月、4月、7月、10月の各7日
Bloomberg:	1577 JP <Equity>
(iNAV)	1577IV <Index>
ISIN:	JP3047560002
SEDOL:	B7Y90R8
PCF配信:	あり

## 純資産総額

782.1 億円

## 基準価額※

20,267 円

※1口当たり 分配金控除後

## 分配金（1口当たり、課税前）

2019年7月	48 円
2019年4月	377 円
2019年1月	46 円
2018年10月	313 円
2018年7月	32 円
設定来累計	3,641 円

・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

・ファンドの分配金は投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

## （ご参考）指数配当利回り

野村日本株高配当70指数 ・予想配当利回り	4.3%
--------------------------	------

(出所) 野村証券

・「予想配当利回り」は今期予想配当利回りを指数構成銘柄ウエイトで加重平均して算出。

組入銘柄数： 70 銘柄

## ■ 投資リスク

当ファンドは、値動きのある有価証券を主な投資対象としますので、連動対象である株価指数の変動、組入株式の価格の下落、組入株式の発行会社の倒産や財務状況等の悪化、その他の市場要因等の影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、市場取引価格または基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。投資信託説明書は、当社インターネットホームページでご覧いただけます。

## ■ 当ファンドに係る手数料・費用について

- 売買手数料 市場を通して売買される場合、販売会社が独自に定める金額がかかります。  
（販売会社ごとに手数料率が異なりますので、その上限額を表示することができません。）
- 運用管理費用（信託報酬） ファンドの純資産総額に、年0.3456%<sup>※1</sup>（税抜年0.32%）以内（2019年6月26日現在、年0.3456%<sup>※1</sup>（税抜年0.32%））の率を乗じて得た額に、株式の貸付を行なった場合は、日々、その品賃料の43.2%<sup>※2</sup>（税抜40%）以内の額を加算した額が、お客様の保有期間に応じた額となります。  
\* 2019年10月1日以降消費税率が10%となった場合は、※1が年0.352%、※2が44%となります。
- その他の費用・手数料
  - ◆ 対象株価指数に係る商標使用料（2019年6月26日現在）  
ファンドの純資産総額に対し、年0.0108%<sup>※1</sup>（税抜年0.01%）を乗じて得た額とします。
  - ◆ ファンドの上場に係る費用（2019年6月26日現在）
    - ・ 追加上場料：追加上場時の増加額（毎年末の純資産総額について、新規上場時および新規上場した年から前年までの各年末の純資産総額のうち最大のものからの増加額）に対して、0.0081%<sup>※2</sup>（税抜0.0075%）。
    - ・ 年間上場料：毎年末の純資産総額に対して、最大0.0081%<sup>※2</sup>（税抜0.0075%）。
  - \* 2019年10月1日以降消費税率が10%となった場合は、※1が年0.011%、※2が0.00825%となります。
- 信託財産留保額 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等。※これらは、ファンドから支払われます。（これらの費用等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。）  
◆ 信託の設定・交換
  - ・ 取得時手数料：ファンドの追加設定のお申込みの際には、販売会社が独自に定める額をご負担いただきます。
  - ・ 交換時手数料：ファンドと現物株式を交換する際には、販売会社が独自に定める額をご負担いただきます。
 ※当ファンドの「取得時手数料」「交換時手数料」は、販売会社ごとに異なりますので、その上限額を表示することができません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

### ■ 野村日本株高配当70の著作権等について ■

野村日本株高配当70は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用される当ETFの運用成果等に関し一切責任を負いません。

◀野村日本株高配当70の説明ページのURL▶

<http://qr.nomura.co.jp/jp/nhdiv/index.html>

### ご注意事項等

ファンドは、値動きのある証券等に投資します（外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。ご購入（追加設定）の際には、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

☆サポートダイヤル☆ 0120-753104（フリーダイヤル）

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

☆インターネットホームページ☆ <http://www.nomura-am.co.jp/>

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号  
一般社団法人投資信託協会会員  
一般社団法人日本投資顧問業協会会員  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員